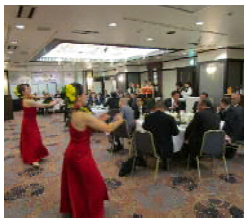
2019－20年度会長総括　許斐義彦

今から3年前の2017年7月、今は亡き栗原さん、北口さん、水本さんの3人が私の職場に来られ、「2019年7月から会長をお願いします。」から私の会長物語は始まります。
その年10月の火曜会で、歴代会長の承認のあと理事会で正式に決定し、それから2年間、ロータリークラブとは何か、ロータリークラブの用語、四つのテスト、クラブ・リーダーシップ・プランとは？RIの規定審議委員会など、ロータリークラブ関連の勉強をさせていただきました。その結果、迷路に入りそうな中、昨年7月2日初例会を迎えました。若手ホープ嶽本幹事、チャーターメンバー島田副会長、各理事さんにそれぞれのお役をお願いしてのスタートとなりました。当日、会長、幹事のバッチ交換があり、責任の重さを感じたことを思い出します。また、嬉しい事にその日、尾本久男さんの入会があり、幸先のいいスタートになりました。では、反省を踏まえて今年度の主な事業を振り返りたいと思います。今年度大きな事業であった、インターアクト年次大会を控えての会長引継ぎとなりました。既に川瀬会長時代から準備が行われ、劉実行委員長、北口副実行委員長、前インターアクト委員長の故深堀さん、今期インターアクト委員長の山田孝二さんを中心に、海星高校インターアクトクラブ（以下ＩＡＣ）との情報交換は頻繁にされていました。7月9日の例会には、地区インターアクト委員長の徳川さんが唐津から激励にみえられました。大会テーマは「共に生きる」に決まり、基調講演の演者は、最終的に江上先生のご紹介で国境なき医師団の元会長の黒崎伸子先生にお願いしました。8月3日の当日は20校のＩＡＣから179名の参加、顧問の先生、千葉ガバナー、第9グループ浦ガバナー補佐、第10グループ小野原ガバナー補佐、他地区のガバナー補佐をはじめ、他高校の提唱クラブの長崎ＲＣ、長崎南ＲＣ、長崎中央ＲＣ、長崎出島ＲＣから多くのロータリアンの参加者がありました。基調講演では黒崎伸子先生に「生きることをあたり前の世界に～人道支援の壁」と題して熱く語って頂き、ＩＡＣの生徒さん、また、ロータリアンの皆さんは深い感動を覚えたと思います。
第1分科会は、長崎女子商業高校ＩＡＣが「海洋ゴミ問題について」を発表し、第2分科会では、純心高校ＩＡＣが「車椅子体験」を行い、第3分科会では長崎女子高校ＩＡＣ（旧鶴鳴高校）が「SNS関係（ネット依存の現状と課題）」を発表し、終了後それぞれ討論してもらいました。最後に大会総評を徳川地区ＩＡ委員長がされ、大きなミスもなく、海星高校ＩＡＣと共に提唱クラブの役目を無事終了する事が出来ました。参加者の皆様お疲れ様でした。次に、8月20日の理事会では、2020～2021年度の第9グループガバナー補佐を江上会員にお願いして、快諾して頂きました。江上会員よろしくお願いします。次に、8月27日は千葉ガバナーの公式訪問があり、指摘事項もさほどなく長崎西ＲＣを良く理解していただき無事終了しました。また、9月5日は2740地区第9、10グループ会長、幹事会のお世話をさせていただき、「各クラブの抱える問題点」について意見交換を行いましたが、多くのクラブが、出席率の低下、会員数の減少の悩みを持たれていました。この点に関しましては、西クラブは、出席委員会安永委員長のアイデアで、メンバーの結婚、入会、誕生記念日には出席の自覚を促すメールを差し上げ、出席向上にご努力されたことに感謝します。また、入会促進に対しましては、会員増強委員会平山委員長のアイデアで、入会の可能性のある方へアプローチする“助成金申請書”を作成していただき、ありがとうございました。また、会員増強プロジェクト馬場理事にお願いして、長崎西ＲＣの入会案内パンフレットを作りましたが、あまり利用されてないみたいで残念です。因みに会長、幹事会や会長、幹事、次期会長、次期幹事合同会に出席し、両会とも出席するまではただの顔合わせ会と思っていましたが、他クラブの方針や考え方を教えられ、得ることも沢山あり、大変参考になりました。また、あるクラブでは、伝統があるために年齢差による意見の違い、また、あるクラブでは、護送船団方式の集団勧誘におけるなれ合いによるわだかまり、などがあるとお聞きしています。ある程度の会員数があり、西クラブのように小さく纏まるのもいいのではないかと思います。もちろん、西クラブも全員が頑張って頂き、あと4～5名は増員してほしいです。色々の考え方があろうとは思いますが、クラブ運営ができる程度の会員数で、全員がおしゃべりできるぐらいの人数がいいのではないかと私は考えます。次に、9月6日（金）は、三宅会員の発案で長く続いています恒例のマリア園毛布クリーニング奉仕を行い、社会奉仕委員会田中豊俊委員長はじめ、搬出搬入に19名のメンバーの方に頑張って頂き、お疲れさまでした。この事業はNCCのニュースで取り上げて頂き、石山会員ありがとうございました。次に10月1日は、夫人同伴観月例会で、長崎西ＲＣ創立35周年記念例会をホテルニュー長崎で開催しました。西クラブは周年記念事業は10周年単位で実施することになっていましたので、今回は島田会員のお世話でメンバーの方に、ネーム入り記念ボールペンを配付しました。また、マリア園、浦上養育院、明星園にはそれぞれご希望の品を35周年記念品として贈呈し、喜ばれ、感謝されました。次に10月8日には、1990年（平成2年）以来の友好クラブ、藤沢南ＲＣメンバーの長崎ご来訪歓迎会に長崎検番を招き、サンプリエールで行いました。島崎会員、日高会員お出迎えご苦労様でした。ご参加の皆様ありがとうございました。この事業が約30年続いています背景には、島崎会員のご尽力のおかげと会員一同認識を新たにしました。なお、藤沢南ＲＣは今年40周年を迎え10月に当クラブ会員をご招待いただける予定でしたが、コロナ禍の影響で自クラブのみで小さく行う旨のお詫び状が先日来ています。

11月5日の理事会では、2020～2021年度会長エレクトに嶽本会員、幹事エレクトに柳会員が正式に選出、決定されました。よろしくお願いします。次に、11月12日は長崎みなとＲＣとの合同例会でしたが、今年度は西クラブがお世話係でしたので、余興に山田吉盛会長エレクトの奥様のフラダンスサークル仲間の方にお願いして披露していただきました。両クラブのメンバーの方もいつも以上に楽しんで盛り上がり、楽しい合同例会になりました。次に、12月24日は忘年例会をサンプリエールで行い、多数の賞品を皆様から提供して頂き、盛会裏に終了することが出来ました。親睦委員会の皆さんご苦労様でした。北口会員はたくさん賞品をもらって喜んで、何処かに持っていかれたらしいです。次に、令和2年になり、1月5日日曜日に恒例の事務局開きを正午から行いました。午後三時過ぎには終わり事務所を出たのですが、しぶとく二次会の場所を見つけて“築町食堂”に行く方が私も含め数人おられ、私は行きませんでしたが、3次会まで続いたそうです。参加の方大変お疲れさまでした。中田さん後片付けご苦労様でした。次に、1月7日は新年例会を、京華園で行い、親睦委員会アイデアの｛アルコール当てゲーム｝で時間のたつのを忘れほどの、楽しい新年例会となりました。
劉さん、親睦委員会のみなさんありがとうございました。次に2月4日の例会では、水本奉仕プロジェクト理事の推薦により、今、長崎で輝く人の一人「ひとり親家庭福祉会ながさき」事務局長の山本倫子さんに当クラブより、職業活動並びにボランティア活動表彰を行いました。次に、3月3日は全員出席例会でした。この日うれしいことに須齋会員が入会されてうれしいのもつかぬ間、国、県から「コロナウイルス感染症」に対する予防が喚起され次回の例会から止む無く中止とせざるをえなくなりました。次に、４月７日、久しぶりの例会をホテルに御願いして、ソーシャルデイスタンスの配席で行いました。この日残念ながら中村さんは鹿児島への転勤で最後の例会出席となりました。当日、“緊急事態宣言”が政府より発表され、世の中の動向を鑑みて、再び次回例会から中止しなければならなくなりました。次に、6月2日は、約3ヶ月ぶりの例会となりましたが、ご覧のようにマスク着用しての例会となりました。また、嬉しいことに、この日中村さんの後任の志賀さんが入会されました。以上、一年間を振り返ってきましたが、休会が3月3回、4月3回、5月3回合計9回もあり、また、3月10日のNCC職場訪問例会、3月31日の夫人同伴観桜例会、5月14日の西会を“コロナ禍”の為に中止せざるをえなかったことに対して、会長として大変残念極まりない事です。しかしながら、この期間、一つだけ実行して頂いたのが“植樹祭”ですが、社会奉仕委員会の田中豊俊さん、草野さん、川瀬さんに高島まで行っていただき、無事植樹をすることが出来ありがとうございました。お疲れさまでした。次に、平山会員には、奨学生トン・インさんのお世話を一年間して頂き有難うございました。また、6月からは北口会員に奨学生ギ・ズイシュンさんのお世話をお願していますが、宜しくお願いします。次に、また、ゴルフ同好会も何回か行われていますが、川口さん、お世話大変ご苦労様でした。笑顔の深堀会員ですが、急逝され、寂しくなりました。
次に、ニコニコ、米山記念奨学金、ロータリー財団の寄付についてですが、ニコニコ総額は目標額120万円でしたが、前回例会まで844,078円です。米山記念奨学の寄付目標は1人16,000円でしたが、約13,000円、ロータリー財団の寄付目標は予定額1人150ドルでしたが、約50ドルでした。いずれも、目標額より大幅減少になりましたが、来季は宜しくお願いします。長崎西ＲＣの会長を任され、短期目標、中長期目標（継続事業）を立てて頑張って参りましたが、先輩方が築き上げてきた継続事業はどうにか実行することが出来ました。
他は3月以降コロナ禍のために、尻切れ状態でお役目が終了ということで、何となく後味が悪い感じがしております。各理事、各委員長の皆様一年間お疲れさまでした。特に、SAA委員長の古里さん、ほとんどお一人で赤タスキ着けて頑張って頂き、お疲れさまでした。また寂しいことに、私どもの仲間でした深堀会員、元仲間の栗原会員、松尾悦二会員、久保会員が亡くなられました、謹んで哀悼の意を表したいと思います。
1905年ポール・ハリスが3名の友人とロータリークラブを作り上げた時代から約115年経ちましたが、ロータリークラブの世界での会員数は、1996年から約120万人で変わりありませんが、日本の会員数は1996年12万9千人だったのが、2016年には約8万9千人まで落ち込んでいます。この会員数の減少が意味するものは何でしょうか？僭越ながら申し上げますが、ポール・ハリスが残した言葉「世界は常に変化している、ロータリーはこの世界共に変化して成長していかねばならない」にならって、私は、世界がもの凄いスピードで変化しているのに、全世界でそれぞれの地区のロータリアンが足並みをそろえて同じ方向にむかって成長しているか否か、今一度考える時期ではないかと思います。またRIからの発信される情報文章を日本語に訳をする時の意訳の問題点や、RI規定審議会のあり方について、2740地区第9グループ長崎西ＲＣの会長をさせていただき、強く感じました。最後になりますが、再度、私を助けていただいた、長崎西ロータリークラブメンバーの皆さん、各理事者の皆さん、各委員長の皆さん、特に島田副会長、嶽本幹事、事務局中田さん、また、西ロータリークラブのために頑張っていただいた、ホテルニュー長崎の皆さんに感謝し、お礼を申しあげたいと思います。
1年間私のわがままをお聞きお受け頂き、また、拙い総評を最後までお聞き頂きまして、ありがとうございました。